

将来見据えた日本の安全保障政策が重要

新たな世界秩序と日米関係

第2回 追い込まれるトランプ政権と日本

―勝者は中国と北朝鮮か!?―



拓殖大学海外事情研究所所長

川上 高司

トランプ政権の場当たりの外交政策 中国との取引が目的で従属変数が北朝鮮か

トランプ政権の外交政策は東アジア地域にどういったインパクトをもたらすのか。わが国は今後の「トランプ時代」をいかに生き抜くのかの試練に立たされている。オバマ政権には外交政策の方向性を示すブルー・プリント(書写真)はあったが、トランプ政権には存在するのである。7月20日、トランプ政権は半年の節目を迎えたが、そのアジア政策は成果がなく結果的に中国と北朝鮮に追い込まれている。

冷戦後の米国の対中政策は、経済的にエンゲージ(関与)し、軍事的にヘッジ(抑止)することにより中国をリスポンシブル・ステークホルダー(責任ある利害関係国)にするという目的があった。

すなわち「餌」と「鞭」を使い中国を国際法や規範を遵守する国家にしようとしたのであり、それがクリ

米中首脳会談で合意の「100日」計画 成果なし、効果なしの結果に

今年4月の米中首脳会談では「100日」で北朝鮮問題や両国の貿易不均衡是正の成果を出すことが合意された。その間トランプは、中国に対して南シナ海や台湾問題など直接的な軍事的な対峙は避け、大統領就任前に公約していた中国を為替操作国にすることを断念したりして「矛」を収めていた。その代わり中国には北朝鮮に圧力をかけミサイル開発や核実験を断念させるよう求めた。北朝鮮の貿易の80%以上を占めそ

とるが、その目指すところに「解」はなく場当たりに決めている。北朝鮮政策をとって見ても、トランプ政権にとっての目的は中国とデール(取引)することであり、北朝鮮はその従属変数との見方も可能だ。

ところが、その目指すところに「解」はなく場当たりに決めている。北朝鮮政策をとって見ても、トランプ政権にとっての目的は中国とデール(取引)することであり、北朝鮮はその従属変数との見方も可能だ。

ところが、その目指すところに「解」はなく場当たりに決めている。北朝鮮政策をとって見ても、トランプ政権にとっての目的は中国とデール(取引)することであり、北朝鮮はその従属変数との見方も可能だ。

ところが、その目指すところに「解」はなく場当たりに決めている。北朝鮮政策をとって見ても、トランプ政権にとっての目的は中国とデール(取引)することであり、北朝鮮はその従属変数との見方も可能だ。

ところが、その目指すところに「解」はなく場当たりに決めている。北朝鮮政策をとって見ても、トランプ政権にとっての目的は中国とデール(取引)することであり、北朝鮮はその従属変数との見方も可能だ。

ところが、その目指すところに「解」はなく場当たりに決めている。北朝鮮政策をとって見ても、トランプ政権にとっての目的は中国とデール(取引)することであり、北朝鮮はその従属変数との見方も可能だ。

ところが、その目指すところに「解」はなく場当たりに決めている。北朝鮮政策をとって見ても、トランプ政権にとっての目的は中国とデール(取引)することであり、北朝鮮はその従属変数との見方も可能だ。

ところが、その目指すところに「解」はなく場当たりに決めている。北朝鮮政策をとって見ても、トランプ政権にとっての目的は中国とデール(取引)することであり、北朝鮮はその従属変数との見方も可能だ。

ところが、その目指すところに「解」はなく場当たりに決めている。北朝鮮政策をとって見ても、トランプ政権にとっての目的は中国とデール(取引)することであり、北朝鮮はその従属変数との見方も可能だ。

ところが、その目指すところに「解」はなく場当たりに決めている。北朝鮮政策をとって見ても、トランプ政権にとっての目的は中国とデール(取引)することであり、北朝鮮はその従属変数との見方も可能だ。

ところが、その目指すところに「解」はなく場当たりに決めている。北朝鮮政策をとって見ても、トランプ政権にとっての目的は中国とデール(取引)することであり、北朝鮮はその従属変数との見方も可能だ。

ところが、その目指すところに「解」はなく場当たりに決めている。北朝鮮政策をとって見ても、トランプ政権にとっての目的は中国とデール(取引)することであり、北朝鮮はその従属変数との見方も可能だ。

ところが、その目指すところに「解」はなく場当たりに決めている。北朝鮮政策をとって見ても、トランプ政権にとっての目的は中国とデール(取引)することであり、北朝鮮はその従属変数との見方も可能だ。

「解」が見えない米政権の対中政策

国際社会から制裁を受けているはずの北朝鮮経済は2016年度の国内総生産(GDP)では3.9%と伸びた。しかも、中国はロシアとともに北朝鮮には対話で応じることが米国に要求する始末だ。

残念ながら、7月19日の「100日」合意の結果を検証するために開催された米中包括的経済対話では成果をほとんど発表できなかった。

蜜月ムードから一転、暗雲漂う米中関係
「ツキデイスの罌」にはまる可能性も

米中関係は当初の「蜜月ムード」から一転して暗雲が漂いはじめた。トランプ政権は、南シナ海の人工島近くで「航行の自由」作戦を再開し、台湾に大型武器を売却、北朝鮮へ石油を輸出する中国の大企業や労働者派遣に関わる企業に対し制裁を発動し、再び北朝鮮への先制攻撃も視野に入れ始めた。さらに、鉄鋼・アルミに関する広範囲の関税や数量割り当てを導入する可能性も出てきた。

蜜月ムードから一転、暗雲漂う米中関係 「ツキデイスの罌」にはまる可能性も

米中関係は当初の「蜜月ムード」から一転して暗雲が漂いはじめた。トランプ政権は、南シナ海の人工島近くで「航行の自由」作戦を再開し、台湾に大型武器を売却、北朝鮮へ石油を輸出する中国の大企業や労働者派遣に関わる企業に対し制裁を発動し、再び北朝鮮への先制攻撃も視野に入れ始めた。さらに、鉄鋼・アルミに関する広範囲の関税や数量割り当てを導入する可能性も出てきた。

ここに至り、米中は「ツキデイスの罌」にはまりかねない兆候が出てきた。紀元前5世紀のギリシャの歴史家ツキデイスは「アテネの台頭に対するスパルタの恐怖が避けることのできないペロポネソス戦争を引き起こした」とし、「新

米中が今後、対立の方向へ向かえば両国と政治・経済面で深い関係にある日本も、長期的な争いに巻き込まれる可能性は否定できない。

ここで重要なのは日本の将来を見据えた安全保障政策の構築がぜひ必要だとい

う現実である。

米中が今後、対立の方向へ向かえば両国と政治・経済面で深い関係にある日本も、長期的な争いに巻き込まれる可能性は否定できない。

ここで重要なのは日本の将来を見据えた安全保障政策の構築がぜひ必要だとい

う現実である。

米中が今後、対立の方向へ向かえば両国と政治・経済面で深い関係にある日本も、長期的な争いに巻き込まれる可能性は否定できない。

ここで重要なのは日本の将来を見据えた安全保障政策の構築がぜひ必要だとい

う現実である。

米中が今後、対立の方向へ向かえば両国と政治・経済面で深い関係にある日本も、長期的な争いに巻き込まれる可能性は否定できない。

ここで重要なのは日本の将来を見据えた安全保障政策の構築がぜひ必要だとい

う現実である。

米中が今後、対立の方向へ向かえば両国と政治・経済面で深い関係にある日本も、長期的な争いに巻き込まれる可能性は否定できない。

ここで重要なのは日本の将来を見据えた安全保障政策の構築がぜひ必要だとい

う現実である。

米中が今後、対立の方向へ向かえば両国と政治・経済面で深い関係にある日本も、長期的な争いに巻き込まれる可能性は否定できない。